

西暦 2025年11月01日作成

研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学人を対象とする研究倫理審査委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。

インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第4章 第8.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	大腿骨-脛骨回旋が高位脛骨骨切り術後成績に与える影響
研究期間	病院長の許可日 ～ 西暦 2027年01月31日
研究責任者	整形外科 准教授 前山 彰
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合 病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 ■後向き期間：西暦 2021年01月01日 ～ 病院長の許可日 □前向き期間：病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日
研究対象者	変形性膝関節症に対し当院でＨＴＯを施行し、術後１年以上観察可能であった患者
研究の意義と目的	当院では初期から中期の変形性膝関節症に対し骨切り術を施行しています。O脚を軽度X脚にすることにより内側に集中していた負荷が分散し、膝関節痛の改善が期待できます。また、術後成績に影響する因子はいまだすべて解明されておらず、特に大腿骨と脛骨という膝を構成する骨同士のねじれ（回旋）がどのように影響するかは不明です。 本研究の目的は大腿骨と脛骨の回旋が術後成績にどのように影響するか明らかにすることです。これにより、手術満足度を向上させようと考えられます。
研究の方法	術前後のレントゲンを用いて、計測を行いデータの解析を行います。
研究に用いる試料・情報	画像データ、診療録
試料・情報の提供先	■無 □有
試料・情報の提供元	■無 □有
情報管理責任者又は名称	整形外科 准教授 前山 彰
研究のための試料・情報を利用する者	本学：人を対象とする研究倫理審査委員会承認され病院長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡くなられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡

	<p>ください。この研究への情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
<p>試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について</p>	<p>患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>所属：福岡大学病院整形外科 担当者名：前山 彰 電話番号：092-801-1011（内線3465） 対応可能日及び時間：平日9:00-17:00</p>